

第49回全日本バトワリング選手権東海支部大会

審査規定

1. 審査内容

- 1) 選手権6種目は全日本バトワリング選手権大会審査内容に準ずる。
- 2) フリースタイル種目は2024年IBTF世界フリースタイル選手権大会日本代表選考会審査内容に準ずる。

2. 審査員は次の通りとする。

- 1) 審査員は次の通りとする。
 - ①選手権6種目は日本バトン協会公認審査員が行う。
 - ②フリースタイル種目はWBTF公認審査員が行う。
- 2) 審査員長・審査副員長
 - ①審査委員長1名、副審査委員長1名とし、審査の円滑な遂行を統括する。
- 3) 審査員・ペナルティ審査員
 - ①審査員は3～5名とする
 - ②選手権6種目のペナルティ審査員は、1名とする。

3. 順位の決定は次の通りとする。

【選手権の部】

- ①審査員3名～5名により10点法（小数点第2位）で採点を行う。
- ②準々決勝は審査員3名と1人のペナルティ審査員で行う。
 - ア) 各審査員の評点からペナルティを差し引き席次に換算する。
席次点合計の低い方を上位とする。準決勝進出下限位が同位の場合は進出できる。
- ③準決勝及び決勝は審査員3名～5名で行う。
各審査員の評点からペナルティを差し引き席次に換算する。
- ④審査員の人数により順位の決定は以下のように行う。
 - ・審査員が3名の場合
 - ア) 全審査員の席次点合計の低い方を上位とする。
 - イ) 準決勝、決勝進出下限位が同位の場合は進出できる。
 - ウ) 決勝順位が同位の場合のみ次の優先順位に従って決定する。
 - 優先順1 ペナルティ減点後の全審査員の点数合計の高い方を上位とする。
 - 優先順2 さらに同位の場合は同位とし、次の位を空位とする。1位が同位の場合のみ審査員3人の投票により決定する。

・審査員が5名の場合

- ア) 換算した席次点の最上位・最下位を除いた合計の低い方を上位とし、順位を決定する。
- イ) 準決勝、決勝進出下限位が同位の場合は進出できる。
- ウ) 決勝順位が同位の場合のみ次の優先順位に従って決定する。
 - 優先順1 審査員全員の席次点合計の少ない方を上位とする。
 - 優先順2 ペナルティ減点後の全審査員の最高点・最低点を除いた点数合計の高い方を上位とする。
 - 優先順3 ペナルティ減点後の全審査員の点数合計の高い方を上位とする。
 - 優先順4 さらに同点の場合は同位とし、次の位を空位とする。1位が同位の場合は、5名の審査員の投票により決定する。

【IBTFフリースタイル選手権日本代表選考会 東海支部予選の部】

フリースタイル個人はショートプログラム演技を行うが順位の決定はフリースタイル演技のみの得点で順位を決定し代表を選出する。

※ドロップペナルティは行わず、各審査員が総合的に評価して採点する。

- ①フリースタイル個人は10点法（小数点第2位まで）、フリースタイルペア・フリースタイルチームは100点法（小数点第1位まで）により採点し、得点とする。
- ② 準決勝及び決勝は審査員3名～5名で行う。
 - ア) 各審査員の得点より席次点を算出し、全審査員の最上位・最下位を除いた席次点合計の低い方を上位とし、順位を決定する。
 - イ) 同位者のみ次の優先順に従って順位を決定する。
 - 優先順1 各審査員の得点より、席次を算出し全審査員の席次合計の低い方を上位とする。
 - 優先順2 各審査員の得点より、全審査員の最高点・最低点を除いた得点合計の高い方を上位とする。
 - 優先順3 全審査員の得点合計の高い方を上位とする。
 - 優先順4 さらに、同点の場合は同位とし、次の位を空位とする。1位が同位の場合は5名の審査員の投票により決定する。